

令和 8 年度 旧日本銀行新潟支店長役宅「砂丘館」
指定管理者事業計画

1. 管理運営の基本方針

伝統的な建築物を大切に維持管理することはもちろん、『おもてなし』の心を大切に管理運営します。

2. 運営に関する業務

- ・適切な人員配置を行い、お客様視点を心掛けた業務を行います。
- ・業務研修は内容に応じて繰り返し行います。他施設との研修や交流も継続して進めます。
- ・苦情を申し立てる人の立場に立って聞く姿勢を徹底することにより、苦情の申し立てやすい環境を常に維持します。
- ・苦情やご意見には迅速かつ適切に対応します。

3. 自主事業

別紙の通り

4. 開館予定

閑散期等において、臨時休館日を下記の通り年間 4 日間で設定いたします。また開館時間の短縮（午後 7 時閉館）の日程については下記の通り 80 日間設定しますが、その期間中に貸館利用の申込がある場合は通常通りの午後 9 時までの開館とします。
臨時休館日や開館時間短縮の日程については、来館者に迷惑が及ばないように努力いたします。

- ◎臨時休館日：8 月 13 日・14 日、2 月 9 日・10 日 全 4 日間
- ◎短 縮 日 程：令和 8 年 12 月 8 日～令和 8 年 3 月 22 日 休館日を除く 80 日間

5. 人員体制

○施設職員

職 種	員数	備 考
館長	1 名	学芸員／防火管理者
受付	6 名	(内 3 名非常勤)
自主事業担当（非常勤）	2 名	
生活文化企画運営担当（非常勤）	1 名	

○本社職員

本社指定管理担当職員（本社勤務）	1 名	
------------------	-----	--

本社は、館から報告を受けるとともに、随時必要な指示と支援を行います。

6. 自己評価の手法

広く施設見学者・利用者の生の声を集めるために、アンケートや感想ノートを常備します。また自主事業時にはその都度アンケートを実施し、感想・意見を集めます。

アンケート結果をその後の管理運営に生かしていきます。

毎月、館職員・非常勤職員、新潟ビルサービス担当者を交えた運営ミーティングを実施し、施設見学者・利用者の意見や要望を検討します。導き出された改善点や新たなアイデアで見学者・利用者が関心を持てるような企画または運営方針を再構築し運営に活用します。

7. 収支予算

【収入】 (単位：千円)

科 目	金 額	主 な 内 容
指定管理料	12,949	市からの委託料
自主財源	3,275	イベント収入、企業メセナ、寄付金、喫茶収入等
合 計	16,224	

【支出】 (単位：千円)

科 目	金 額	主 な 内 容
人件費	10,585	
管理費	2,414	光熱水費、施設案内パンフ作成・発送費等
自主事業費	3,225	材料費、人件費
合 計	16,224	

砂丘館 2026年度(令和8年度) 自主事業計画

自主事業は「自主企画展」「芸術文化の催し」「生活文化の催し」「セミナー」「その他」23事業を実施する。

① 自主企画展／新潟のすぐれた美術家や、新潟に関わりなく、すぐれて現代的意義を持つ作家の個展やグループ展をギャラリーと館内を会場に開催する。(7事業)

西村満展 2026年4月14日～5月10日

新潟市で風景画を生涯描き続けた画家西村満（1935－22）をもっとも印象的に特徴づける晩秋～冬の浜辺を描いた作品群から大作を含む26点を全館を会場に紹介する。



西村満作品

端午の節句展 2026年4月18日～5月9日

瓦の町・安田（阿賀野市）の瓦職人が制作した端午の節句にちなむ瓦のオブジェを二展示する。旧齋藤家別邸と涵養荘と連携・同時期開催



松本全廣作品

松本全廣展 2026年6月2日～7月5日

東京に生まれ高校卒業後、さまざまな職を転々としながら、まったく自由に描く生活をはじめ、40代からは長野県北御牧村（現東御市）で絵画、篆刻、書、立体など多様な制作をおこなった松本全廣。生活と制作と人生がひとつであった人の、自由と多様と生きる喜びで初夏の砂丘館をかざる。

榎本栄子彫刻展 2026年7月28日～9月6日

昨年（2025年）4月に亡くなった彫刻家榎本栄子の遺作を紹介する。榎本栄子は1942年生まれ。東京芸術大学で彫刻を学び、二科展、現代彫刻展等で受賞した。しかし以後は団体所属を離れ、1988年以降は山梨県で制作を続けた。人体塑像に哲学的主題を視し、社会の諸問題とも向き合い、独自の造形思考を追及した美術家を、2015年に砂丘館で紹介した主要作品に、アトリエに残された未紹介作品を加えて展示する。



榎本栄子作品

ペーテル・ヘルシング展 2025年10月14日～11月15日

スウェーデンのゴットランド島に住み、島の羊たちの毛を素材に作品を制作する現代作家の日本初の個展。羊毛によるラグ、タペストリーとともに、丸太や角材を用いて「インスタレーションとしての織機」を制作し、鑑賞者がその場で、素材（外にある自然）と身体と心が交流する場をもつくり出す。日本の手仕事、神道にも興味を寄せる作家と新潟の手仕事作家との対談、コラボレーションもおこなう。



ペーテル・ヘルシング作品

映像展示2026-27 ① 木澤和子 2026年12月1日～13日
② 吉原悠博 2026年12月15日～27日
③ mikkyoz018 2027年1月5日～17日

2012年から毎年作品を紹介してきたmikkyoz、2023年から新たに新作を定期発表するようになった吉原悠博に加え、フィンランドに長く滞在し制作をしてきた見附市出身の木澤和子の映像作品を紹介する。

飯沢耕太郎展 2026年2月19日～3月22日

写真評論家の飯沢耕太郎は近年、詩人、画家としても活動をおこなっている。日本の写真の歴史を研究し言語化してきた飯沢の、表現者としての一面を紹介する。



飯沢耕太郎作品

② 芸術文化の活動／蔵や居間・茶の間・座敷を会場に、新潟の音楽家、パフォーマーの公演を行う。（5事業）

- ・林家正雀落語口演 6月20・21日
- ・平原慎太郎ダンス公演 7月31・7月1・2日
- ・古田春花ライブ 9月下旬
- ・能勢山陽生・宮本尚晃ライブ 11月28日
- ・堀川久子ダンス公演 2027年3月



林家正雀。



古田春花



平原慎太郎

③ 生活文化の活動／伝統的住空間を生かし日本の生活文化を体験する催しを行う。（7事業）

- ・四葩のコンサート 7月5日
- ・庭園実技講習 松と高木の剪定 7月4日
(協力 新潟造園建設業協会)
- ・村松栗モンブランを味わう 10月
- ・庭園実技講習 雪囲いと雪吊り 11月14日
(協力 新潟造園建設業協会)
- ・秋HIYORI 11月
- ・新春神楽めぐり2027年1月(旧齋藤家別邸と連携)
- ・香道入門講座 時期未定



村松栗モンブランを味わう



庭園実技講習



高森いざや神楽

④ セミナー (2事業)

- ・初心者のためにふるまち新潟をどり鑑賞講座 9月5日
- ・大竹昭子 写真をより深く見るためにワークショップ 9月25日

⑤ そのほか (2事業)

- ・花と絵による館内のしつらい 常時
生け花と「砂丘館セレクション(新潟市内の所蔵家から借用した絵)」で館内を飾る。
- ・見学者への解説 土日・祝休日
解説ボランティア養成講座を受講したボランティアにより、来館者に館内の解説を行う。